

私たちのふるさと、大積・宮本地区も全国的に言われている、高齢化や人口減少が進んでおりました、これをなんとかする手立てはないか？とずっと考えておりました。そのような中、この「大積インターチェンジ」や「長岡ニュータウン連絡道路」の話が持ち上がりました。

本当に実現したら、このことが起爆剤となって、周辺にある国営越後丘陵公園や県立歴史博物館などが人でにぎわい、また雲出工業団地や西部丘陵地には新しい企業が進出し働く場が増え、若い人も集まってくるのではないかなど、地域の住民に希望の光が見え、期待に胸がふくらんだことが昨日のことに思います。

今日は、直轄調査の箇所選ばれたということで、また、一步、実現に近づき、本当にうれしく思っています。

大積・宮本地区、すべての住民の悲願であります。これからも、地域が一丸となって頑張ってもらいますので、是非、早期の実現をお願いいたします。

大積地区町内会連合会長      脇屋 雄介  
宮本地区連合町内会長      高橋 清一